

—雲坂衛議員に期待する



鳥取市議会「会派新生」会長
上杉 栄一

鳥取市議会は、平26年11月に執行された市議会議員選挙で厳しい選挙戦を勝ち上がり、32名の議員が誕生いたしました。翌月、保守系議員を中心とした14の議員で構成する「会派新生」を立ち上げ、4年間の任期がスタートしました。雲坂衛議員も当会派に所属し新人議員として日々研鑽に励んでいます。

賀露地区では、鳥谷龍司前市議会議員が県議会へ転出し、後任として若い雲坂議員が誕生されました。2年前、地元から立候補し見事当選された深澤義彦市長を始め、鳥谷県議会議員、そして雲坂衛議員と、市長・市議会・県議会の連携により、地元賀露地区の発展はもとより、本市の発展に寄与されるものと大いに期待いたします。

「会派新生」では、新人議員を中心に定期的に勉強会を開催しており、市政の課題について研修を重ねています。

議員は、4年に一度選挙の洗礼を受けます。4年間の議員活動が次の選挙で市民の審判を仰ぐわけですが、雲坂衛議員には、議員としての研鑽を積み重ね、より一層の活躍を期待するものであります。そのためにも、後援会の皆様には、雲坂衛議員に対しまして更なるご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

—皆様方のご支援 感謝申し上げます。



鳥取県議会議員
鳥谷 龍司

一昨年は、雲坂衛議員を私の後継者として、鳥取市議会へ送り出すため、後援会の立上げをはじめ、支援者のご紹介など、いろいろな面で皆様方には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

雲坂衛議員は、皆様方からのご要望やご相談、所属会派での勉強会などを通じて、日々研鑽に励んでいるところであります。

今後も、一緒になって鳥取を「元気で、誰もが安心して暮らしていける社会」にしていきたいと考えております。引き続き、ご支援賜りますようお願いいたします。

編集後記

昨年8月に、第1回目の活動報告会を開催させていただき、会場に入りきれないほど多くの方々にご参加いただき誠にありがとうございました。この度、より多くの方々にはっきり報告できるよう、後援会だよりを創刊させていただきました。

もっと早く、後援会だよりを発行する予定でしたが、遅れましたことをお詫び申し上げます。

議会での所属について

当選させていただきました直後に、選挙の焦点の1つでもあった「新庁舎の位置条例」などから、保守系議員をまとめる動きがありました。また、自分の想いを実現するためにも、影響力のある会派に入り活動することが望ましいと考え、最大会派「会派新生」に入ることを決めました。現在は、会派割り当ての中で、議会運営委員会と、福祉保健委員会の2つの常任委員会に属して、副会長の役割を担っております。

■議会運営委員会

議会定例会の運営や提出議案の審議など、議会運営を円滑にするための委員会

■福祉保健委員会

所管事項：福祉保健部及び病院事業の所管に属する事項

■鳥取市議会「会派新生」

議員32名中14名の最大会派



会 長	上杉 栄一	副総務会長	横山 明
副 会 長	下村 佳弘	政調会長	寺坂 寛
幹 事 長	山田 延孝	副政調会長	魚崎 勇
副幹事長	岡田 信俊	副政調会長	古野 恭介
副幹事長	星見 健蔵	会 計	砂田 典男
総務会長	金谷 洋治	副 会 計	雲坂 衛
副総務会長	西村伸一郎	顧 問	房安 光

「いっしょに創ろう未来の鳥取!」
くもさか衛^{くもさかの}
後援会だより

創刊号

平成28年9月発行

■発行責任者 くもさか衛後援会 ■編集・制作 スタジオぷり

ごあいさつ



鳥取市議会議員
雲坂 衛

一昨年の選挙では、多くの皆様方に大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

「いっしょに創ろう未来の鳥取」のスローガンのもと、後援会を発足いただき、立候補にあたり「3つの想い」を掲げさせていただきました。

『3つの想い』

- ・「創業支援や地場企業支援の充実による雇用の創出」
- ・「子育て支援や社会福祉の充実」
- ・「皆様方の声を政治に反映させるための仕組みづくり」

現在、自治会や各区長様はじめ皆様方からの、ご相談やご要望等を通して、日々さまざまなことを勉強させていただいているところでございます。

さらなる市民福祉の向上の為、皆様方といっしょに「鳥取の未来」を創り上げていきたいと考えております。

今後とも、ご支援の程よろしく願っております。

気持ちに応えられる議員に



くもさか衛後援会 会長
深澤 修一

「いっしょに創ろう未来の鳥取」を信条に、熱く戦い抜いた市議会議員選挙より、はや1年10ヶ月が経ちましたが、これもひとえに応援いただきました皆様方のご支持、ご支援の賜物と感謝しております。

昨年の夏に第1回目の市議会活動の報告会を行い、ご参加いただいた皆様方との意見交換の中で、

いっそう活動内容の充実に努めているところです。また、「地場産業の充実・強化」、「子育て支援」、「雇用の創出」を中心に「活力あるふるさと」の実現に向け邁進しております。

皆様方には、雲坂衛議員に対し、ご要望やご意見もあると思います。遠慮なく相談いただき、色々な経験を積み重ね、皆様方の気持ちに応えられる議員になってもらいたいと思っています。

今後も皆様方の益々のご支持、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



議会活動報告

平成26年12月・平成27年2月・6月・9月・12月・平成28年2月・6月

これまで定例議会での一般質問の一部を報告いたします。詳細な議事録や映像など、鳥取市議会ホームページからご覧いただけます。



鳥取市議会HP

■平成26年12月定例会■

—さらなる起業家支援の充実を

問 起業家のための資金調達拡充と、まちなかにインキュベーション施設を。

答 (市長) クラウドファンディングの活用に対する本市独自の支援等を、来年度の実施に向け検討したい。また、相談や情報交換がいつでもできるインキュベーション施設は非常に大切と考えており、ニーズ等を踏まえ、起業しやすい環境の充実について検討したい。(平成27年度より FAAVO (ファーボ) に鳥取地域ページが別途開設。)



※インキュベーション施設：起業家の育成や新しいビジネスを支援する施設。

※クラウドファンディング：群衆 (crowd) と資金集め (funding) の造語。ある「志」を持った人や団体に、インターネットを通じて資金を集める方法。

※FAAVO (ファーボ)：地域を盛り上げるプロジェクトに特化したクラウドファンディングネットワーク。

■平成27年2月定例会■

—「保証料の助成制度」の拡充を

問 景気的好循環をつくりだすためにも、銀行貸出増加のための「呼び水」として、信用保証協会付融資の「保証料」の助成制度を拡大してはどうか。

答 (市長) 地元の中小企業の育成・支援は、本市の経済の再生・活性化、また雇用の安定・創出を図っていく上で最も重要な取り組みだと考えている。保証料の助成等、他市の先進例を参考に、利用者のニーズも踏まえ、制度融資の充実を図っていく上で検討していきたい。

信用保証協会付融資の仕組み



※信用保証協会付融資：国が出資している信用保証協が、事業主の保証をすることで、銀行借入を行いやすくする融資制度。
 ※信用保証協会付融資：国が出資している信用保証協が、事業主の保証をすることで、銀行借入を行いやすくする融資制度。

■平成27年6月定例会■

—市立病院に「病児保育」導入を

問 12月議会で、鳥取市立病院に病児保育を加える提案をしたが、その後の状況はどうか。

答 (病院事務局長) 本年2月に担当の児童家庭課から病児保育追加の要請があり、院内の医療従事者と協議した結果、感染防止対策、スペース確保、医師の診療体制、看護師・保育士の人員配置など、さまざまな課題が出た。今後、ひとつひとつ課題を解決し、病後児保育に加え病児保育ができないか、積極的に可能性を探っていきたい。

※病児保育：保育施設に通っている子どもが病気になる時、仕事を休めない親御さんに変更り病気の子どもの世話をする保育事業。

※病後児保育：病気の回復期にある子どもに対して、安静の確保に配慮して行う保育事業。

■平成27年12月定例会■

—鳥取市の水産業のさらなる振興を

問 鳥取港の水産業振興を考えると、イワガキの漁獲量増加のには漁礁の増設や清掃が、また、新しい商品開発を思案している方のためには販路や機材等が、必要と思われる。また、過去には養殖も行っており、県外の事例を調査研究しながら、生産量、加工設備、販路、経営人材等の「6次産業化」の課題を踏まえ、鳥取市においてもより水産業の振興を図られたい。

答 (市長) 水産業の6次産業化の場合、漁獲量の安定的な確保、販路の拡大等が重要な課題であり、同業者等の連携強化による漁獲量の確保や漁業者、加工業者、販売業者が連携を深めることで、より円滑な加工や販路の拡大が図られると考える。また、水産業振興として、平成21年から平成23年まで酒ノ津地区のイワガキ漁礁の清掃等の支援を県と協議し行った経緯があり、鳥取港でも要望があれば県と協議し支援していきたい。



※6次産業化：農林漁業者 (1次産業従事者) がこれまでの原材料供給者としてだけではなく、自ら連携して加工 (2次産業)・流通や販売 (3次産業) に取組を進めることで、所得向上などを目的とする。

■平成27年12月定例会■

—臭気指数の見直しについて

問 今回の臭気指数見直しの際には、住民の意見にもしっかりと耳を傾け、住民も納得できる臭気調査方法による資料で審議いただきたい。

答 (市長) 臭気指数の基準値について、次の環境審議会で、地元の皆さんのご意見もしっかりと反映したい。(環境下水道部長) 賀露地区臭気対策会議の意見を受け、平成28年度には、実際に住民の方が臭うと言われる場所での測定を行い、その臭いがどのぐらいの臭気指数なのか感じてもらう測定方法の実施をしたい。

■平成28年2月定例会■

—「新庁舎建設の地元発注」について

問 新庁舎建設は、本年7月予定の基本設計の段階で、建物の具体的な内容が決まることなどから、現在、大変重要な時期であり、地域経済の活性化を図るためにも、「できる限りの地元発注」をどのように行うのか。

答 (市長) 設計者の提案を基本とし、「防災の拠点」、「建物の生涯費用・長寿命化」などの必要性を確保する。公共工事は、「良好な品質の社会資本整備の推進、またその担い手である「地元業者の育成・支援」といった基本的な考えに立ち、できる限り地元発注することで、地域経済に貢献できるように進めていきたい。



■平成28年6月定例会■

—連携中枢都市圏での事業について

問 平成30年4月の中核市移行に合わせ、定住自立圏から連携中枢都市圏へ移行した場合、財政措置を活用し、どのような事業が考えられるか。

答 (市長) 本市は、企業誘致などによる雇用の創造、広域観光の振興、移住定住の促進、医療体制の充実など様々な取組を進め、香美町を加えた1市6町の圏域での発展を目指しているところである。

(企画推進部長) 国の中心市への財政支援措置は、年間0.85億円から2.5億円と手厚くなる。



連携中枢都市圏形成のための手続き



調査報告

福祉保健委員会、議会運営委員会、会派新生、その他、議員研修、勉強会、講演会（抜粋）

福祉保健委員会

- 平成27年4月
- ・中核市移行に伴う保健所業務について（枚方市）
- ・子育て支援日本一について（大垣市）
- ・母子生活支援施設について（名古屋市）
- 平成28年4月
- ・介護予防事業について（小田原市）
- ・子育てケアプランについて（浦安市）
- ・保育士確保プラン、シニアスクールについて（江戸川区）
- 平成28年5月（管内視察）
- ・子育て支援について（鳥取県子育て王国推進局）
- ・保育士確保について（コモド第2保育園、鳥取福祉会）
- ・24時間体制の訪問介護について（にしまち幸朋苑）
- ・院内託児所、地域ケア病棟について（市立病院）



議会運営委員会

- 平成27年4月
- ・議会改革、議会基本条例について（嬉野市）
- 平成28年4月
- ・議会ICT化（タブレット、大型モニター導入等）（大津市）
- ・大学連携、市民との意見交換について（四日市市）



会派新生

- 平成27年2月
- ・地方創生総合戦略、地域連携、地域の中核企業支援、観光戦略について（衆議院第2議員会館）
- ・中核市、保健所について（越谷市）
- 平成27年5月（管内視察）
- ・間伐材について（八頭町森林組合・山陰丸和林業）
- ・企業誘致について（河原インター工業団地）
- ・可燃物処理場について（河原町）
- ・旧日置谷小学校跡地植物工場（AI FACTORY）



- 平成27年7月
- ・生活保護自立支援プログラムについて（釧路市）
- ・都市計画マスタープランについて（根室市）
- 平成27年11月
- ・災害時の議会対応について（郡山市）
- ・防災教育、復興状況について（釜石市）
- 平成28年1月
- ・新庁舎建設について（うるま市）
- 平成28年3月
- ・起業家支援（「トライパ/レー構想」等）について（飯塚市）
- ・議会のICT化による情報公開（USTREAM、YouTubeの活用等）について（下関市）
- 平成28年7月
- ・福祉について、総合体育館整備について（函館市）
- ・市民参加型まちづくりについて（弘前市）



その他

- 平成27年2月
- ・「ミラサボ」（中小企業総合支援サイト）について（大阪市・大阪産業創造館）（ベンチャーコミュニティ）
- ・空きリソース活用のアイデアソン（品川区・サムライインキュベーター）



- 平成27年4月
- ・第11回サムライベンチャーサミット（人工知能、IoT、Fintec等）について（品川区・日本マイクロソフト）



- 平成27年8月
- ・ベンチャー政策カンファレンス2015（港区・トーマツベンチャーサポート）



- 平成27年10月
- ・G1中国・四国 in 広島2015（「中国・四国地方のグランドデザイン」等）（G1サミット主催）



- 平成27年7月（第1回）12月（第2回）
- ・オープンデータハッカソン「空家×ビックデータ」（鳥取県）
- 平成28年1月
- ・TOTTORI×OSAKA イノベーションセミナー（大阪イノベーションハブ）（鳥取県主催、大阪市協力）



- 平成28年6月
- ・SAMURAI ISLAND EXPO' 16（イスラエル、社会起業家、ピッチ等）について（品川区・天王洲アイル）



- 平成28年7月
- ・東松龍盛塾2期生（グロービス東京校）自治体の財政の仕組みと事業評価、パワーと影響力



議員研修

- 平成27年3月
- ・あいサポーター研修、手話研修（講師：あいサポートメッセージャー 田中秀幸氏、鳥取市社会福祉協議会 田中優子氏）
- 平成27年11月
- ・4市議員研修会（境港市）「地方議会への期待—若者の視点から」（講師：島根大学教授 毎熊浩一氏）
- 平成27年12月
- ・「女性の職業生活における活躍の推進について」（講師：鳥取労働局長 廣瀬真理氏）

勉強会（定期的に開催）

- ①鳥取市第10次総合計画について
- ②鳥取県立美術館について
- ③スマートエネルギータウン構想について
- ④安心安全なまちづくりについて（防災全般）
- ⑤国民健康保険について
- ⑥障害者福祉施策について
- ⑦高齢者福祉施策について
- ⑧
- ⑨
- ⑩

講演会

- 平成28年2月
- ・新田地区カルチャー講座（智頭町）
演題：「仕事を起こす、つくる」
（ITベンチャーのサービス活用と金融政策についてなど）



賀露町の大規模養鶏場周辺の臭気対策と臭気指数の推移について

補助事業活用分 臭気指数基準：15 (H24.10.1より臭気指数の規制)、●は改善指導あり

経緯	臭気指数	
昭和36年	・市、農協の誘致により賀露鶏農農場を建設 ・県内種鶏農家へ親鶏の供給事業開始	
平成 2年	・採卵事業を開始	
平成 5年	・規模を拡大 (平成7年ごろ悪臭が問題化)	
平成10年	・全農は鳥取県経済連との統合により、株西日本ジェイエイ畜産を設立	
平成27年	・常時飼養規模採卵鶏約23万羽	
対策	臭気指数	
平成18年	・脱臭剤 201 (におわん)の使用開始 (即効性消臭資材)※鶏糞移動・搬出時に使用 ・縦型密閉式コンポスト用脱臭装置の設置 (3基分) ・臭気低減対策として、鶏糞ボイラーの稼働中止 ・羽毛飛散防止カーテンの設置	<10、16
平成19年	・試験的に鶏舎排気口に防塵網を設置	17、11、13
平成20年	・悪臭拡散防止のためサンゴ樹・ユーカリを植樹 ・深槽型式攪拌コンポスト用密閉式脱臭装置 (微細噴霧装置) (事業費：12,128千円) (県1/4：2,900千円・市1/4：2,899千円) ・試験的に臭気吸着ネットを設置 (鶏臭の軽減のため)	12、<10、12
平成21年	・おが粉脱臭装置のおが粉交換 ・パイオ酵素 T の使用開始 (堆肥舎内の鶏糞発酵促進資材) ※舎内散布	22、<10、19
平成22年	・鶏糞処理槽消臭細霧装置 (消臭 BOX) の設置 (事業費：11,996千円) (市1/4：2,928千円) ・おが粉脱臭槽消臭資材敷設 (吸着)	16、<10、14
平成23年	・鶏舎施設換気機器への消臭細霧装置の設置 ・脱臭槽の資材をより消臭効果のあるガラス発泡剤に変更 ・鶏舎間に防塵ネットを設置 ・鶏舎換気扇出口に縦霧消臭装置設置 ネット・消臭装置 (事業費：21,550千円) (県1/4：5,387千円・市1/4：5,388千円) ・堆肥棟に縦型密閉式コンポストを増設 (1基) (事業費：19,300千円) (市1/4：4,361千円・予算の範囲内)	16、13、11、11
平成24年	・ガラス発泡材脱臭槽に軽石を追加敷設 (脱臭能力の向上) ・横型発酵槽細霧消臭装置の噴霧ポンプの更新 ・細霧ハウス出口側に細霧噴口を追加設置 (これまでは片側のみ) ・横型発酵槽施設の屋根、外壁の修繕 ※暴風被害復旧対策支援事業 (事業費：476千円) (県1/3：158千円・市1/4：158千円)	13、15、<10
平成25年	・鶏舎間防塵ネットの改良 (I字型→T字型) 併せて、既存のネットの張り替え (事業費：711千円) (市1/4：168千円)	12、13、17、15、<10、<10、10
平成26年	・市の支援は無し。ただし、独自で鶏にパイオ酵素を飲水投与し、腸内細菌を活性化させることで鶏の体臭、堆肥臭の軽減を図る試験的取り組みを行った。	16、13、13、14、14、15
平成27年	・堆肥棟に縦型密閉式コンポストを増設 (1基)※独自導入 ・鶏糞自動成形機を導入 (1台)※がんばる農家プラン事業 (耕畜連携) (事業費：12,000千円) (県1/3：4,000千円・市1/6：2,000千円)	12、16、11、12、11
平成28年～	(以下の通り検討中) ・西日本ジェイエイ畜産対応 ①平成28年夏は、一番強い悪臭が発生する横型発酵槽を稼働させず周辺で臭気がどのくらい低下するか確認。 ②その他 ・提案中 鶏舎に遮熱塗装 (夜間鶏舎内を22℃以下に目指し換気扇の稼働を抑制) (特に夜間早朝の空気が停滞するときの臭気の降下を防止)	

